

学びつながりあう場所

芝公園ラボ

主催：公益財団法人日本女性学習財団

Vol.
06

対面開催

『産まなければならぬ』 呪縛への道のりと解放

「第8回日本女性学習財団未来大賞」受賞レポートを通して考える
女性のエンパワーメント



スピーカー 佐藤有理さん

第8回日本女性学習財団未来大賞 大賞受賞者

受賞レポート「『産まなければならぬ』呪縛への道のりと解放
—次世代の女性たちへのメッセージ—」

コメンテーター

荒木菜穂さん

大阪公立大学客員研究員、WAN理事

著書『分断されないフェミニズム

ほどほどに、誰かとつながり、生き延びる』(2023, 青弓社)

2025年12月16日 (火)
19:00～20:30

— 内 容 —
お話し、トークセッション、質疑応答

会場：日本女性学習財団Space We learn
(東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階)

対象：テーマに関心のある女性

定員：25人(先着順)

★参加費 1,000円

* 日本女性学習財団関係者 800円

* 大学生・大学院生 500円

* 高校生以下 無料

お申込・詳細



<https://jawe20251216.peatix.com>



「産まなければならない」をはじめとする女性への呪縛。いつから、誰から、縛られているのか。呪縛の正体は？解放されるためには？

第8回日本女性学習財団未来大賞受賞者・佐藤有理さんのレポート「『産まなければならない』呪縛への道のりと解放一次世代の女性たちへのメッセージ」を元に、女性同士を分断するものを分析されている荒木菜穂さんをコメントタに迎え、考えていきます。

荒木菜穂さんには、「わかりあえない、から始める「シスターフッド」— フェミニズムの複数性と現代を視野に入れて」(月刊Welearn2024年10月号・研究レポート)を寄稿いただきました。

佐藤 有理

「『産まなければならない』呪縛への道のりと解放一次世代の女性たちへのメッセージ」

＜要旨＞

「子供はもし縁があれば」と思っていたはずの私は、いつの間にか「産まなければならない」と思い込むようになってしまっていた。本レポートは、なぜ私がそのような呪縛にかられるようになったのかという過程と、その呪縛からどのように解放されたのかについて、ジェンダー視点をもちながら自身の経験を振り返り考察する。次世代の女性たちが、「～なければならない」と思い込んでしまうことで苦しみを感じる時、それは生まれながらに与えられた「女性」という性別も影響している可能性があることを認識できれば、その苦しみから解放されることがあると考える。このレポートがその解放の道へ何らかの貢献ができる事を願っている。

月刊Welearn2025年3月号で全文掲載しています

くわしくはこちら→

日本女性学習財団未来大賞とは

「出発・再出発」をテーマに、ジェンダー平等社会、多様な人々が生きやすい社会の実現に向けて、次への一步を踏みだしたい／踏みだした人（踏みだす人を支援する人・グループも可）の思いや学び、実践の過程などをまとめたレポートを募集しています。

「芝公園ラボ」とは？



（公財）日本女性学習財団は、男女共同参画社会の形成に資する学びを支援しています。2023年度より、当財団での資源を活かしながら、学びつながりある場として、「芝公園ラボ」をスタートしました！「ラボ」の名の通り、さまざまなテーマを取り上げ、参加者の皆さんとの化学反応を楽しめる場にしていきます。

会場までのアクセス

JR山手線・京浜東北線：浜松町駅北口より8分
地下鉄（都営浅草線）：大門駅A6出口より5分
地下鉄（都営大江戸線）：大門駅A6出口より5分
地下鉄（都営三田線）：芝公園駅A3出口より2分



詳細はこちらを □□□□□□

お問い合わせ先

公益財団法人日本女性学習財団
学習事業課

E-mail jawe@nifty.com

TEL 03-3434-7575

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-8 日本女子会館5階